

第9回京機ミュージックカフェ
芸術の秋スペシャル企画
『感動体験 情熱のフラメンコと、本格スパニッシュ料理とワイン』
2016年11月19日(土) at 神戸元町



第9回のミュージックカフェは、本格フラメンコの世界を、京機会MCで独占体験しました。
フラメンコを是非見たい、聴きたいと17名もの参加者で大盛況となりました。

神戸元町から山側に徒歩5分ほどの、1975年創業のLosGitanos(ロス・ヒターノス)。扉を開け石畳風の通路を中に入ると、もうそこはスペインの世界。



ステージとの距離0mの特等席エリアを、京機MCの参加者で占有しました。まずは、一番に参加エントリーいただいた東京経済大学・名誉教授棚橋様(S39)に大変楽しみにされていたとのご期待のごあいさつと乾杯の御発声をいただきました。イングランドご出身のアマリーンご婦人も、日本でのスペインという風変わりな組合せを終始笑顔で楽しまれていました。

店長から、本日出されるスペイン料理のご説明とともに、スペインのワイン「サングリア」がサーブされました。まず出された本場の生ハムとサラミ、その後次から次に出されるスペイン料理にご婦人たちもご満悦。ワインボトルもあつという間にあいてしまいました。



お食事の間に、参加者自己紹介企画をおこなうことにしました。おひとり言ずつで済んでしまうかも、どうなるかなと思いながらスタートすると皆様、しゃべるしゃべる。饒舌の嵐にステージ前の90分があつという間に経過。ステージに登壇してしゃべる方までおられ、京機会の集まりならではの感じる時間でした。初対面の方、常連の方境目なくおしゃべりの渦と化したのでした。



あとは、ステージ。
次ページの写真で興奮と、メンバーの盛り上がりをご覧ください。



大迫力の舞踏とフラメンコ特有の旋律の歌とギター。踊り手の飛び散る汗が見えるほどです。速くて強いタップが「ガガガガ。ダダダダ」と打ち寄せてきます。脚をいためないか心配なほどです。情熱を惜しみなくぶつけて本気で踊っていただいたダンサーさんたちに感動しました。 オレー！

さらに、アフターには、踊り手さんと一緒に記念撮影やおしゃべりも。京機会で独占とはいえ、やりたい放題ですね。

本当に、皆様、ご参加ありがとうございました。お疲れ様でした。

ミュージックカフェが、どこまでエスカレートするのか、またハードルがあがってしまっただけで企画者としては、自業自得の「うれしい悲鳴」です。



全員で記念写真



男性陣は、美しいダンサーと写真をとりたいがるのは無理もなし。



女性陣も、いつものように元気です。感心するばかりです。